

【発行】

- ◆デイサービスセンター共生の里
- ◆共生の里・成合デイサービス
- ◆グループホーム共生の里
- ◆共生の里訪問看護ステーション
- ◆なずなケアプランセンター
- ◆共生の里ヘルパーステーション
- ◆有料老人ホーム共生の里

〒569-0065

高槻市城西町7番11号

摂津ビル201号

Tel. 072-604-4291

2026年

2
月号

共生の里だより



日本の「おもてなし」

2026年、新年早々、衆議院が解散された。なんで解散したの？という声は少なくないが、それでも選挙がスタートしたのだから、選挙後の国会議員たちで一步も二歩も前進した日本を創ってほしい。ところで、気になることがある。それは、前回の参議院選挙で外国人差別を煽った人たちが多数当選したことだ。今回の選挙では、そうしなかったことがないように願いたい。2020年の東京オリンピックで「おもてなし」という言葉が流行ったのは記憶に新しい。日本には「おもてなし」という文化があり、その「おもてなし」文化を最大限発揮して、東京オリンピックにきた外国人たちをもてなそうと国を挙げて取り組んだ。なのに、数年で外国人差別を煽って票を獲得しようとする政治家や、そうした政治家に1票を投じる日本人が増えたことは、とても残念だ。京都には「ブブ漬け」という言葉がある。来客に「ブブ漬けでもどうぞ？」と勧めるが、真の意味は「早く帰れ」ってことらしい。日本文化の「おもてなし」が「ブブ漬け」と同じでは恥ずかしい。政治の場で、真の「おもてなし」精神を発揮して外国人の人権を守って欲しい。



<正月晴れ>